

SRS-001 スマートライドモニターAIO-5 Lite

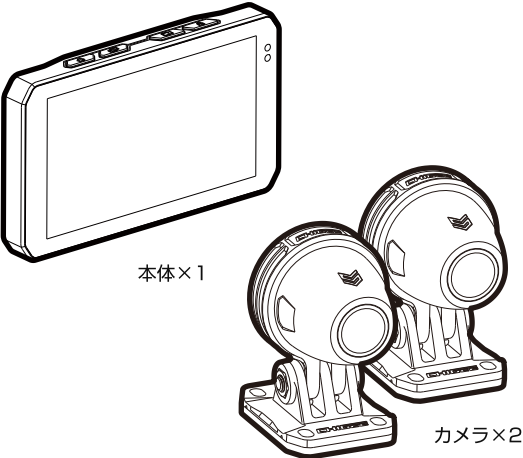
＜取扱説明書＞

- 本書は紛失しないよう大切に保管してください。
- 作業の際は純正サービスマニュアルを併せてご参照ください。
- 本製品の取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。モニターやカメラの取り付けを伴う作業を行う際は、必ず車両販売店や特定認定工場など、確かな知識と技術を持ったメカニックが行ってください。弊社ではお取り付け等の対応は行っておりません。
- 本書の表記内容（画面上のメニュー名表記など）はファームウェアバージョンによって多少異なる場合がございます。

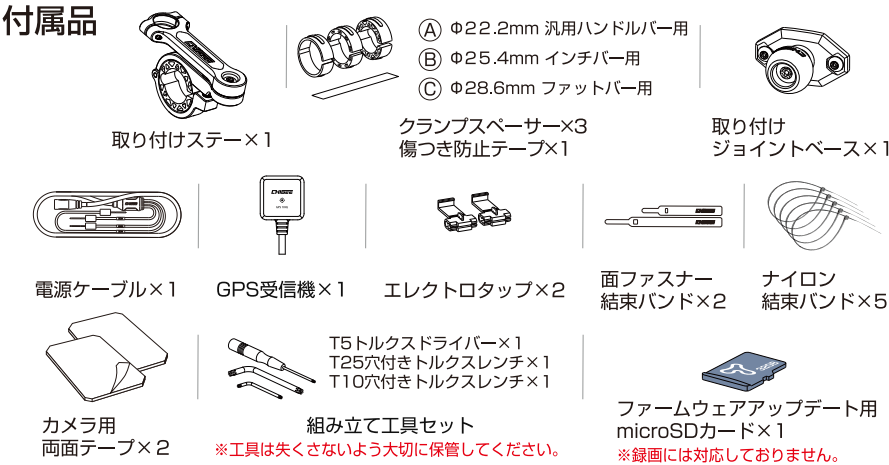
01 構成

本製品をご使用になる前に内容物が全て揃っているか確認してください。

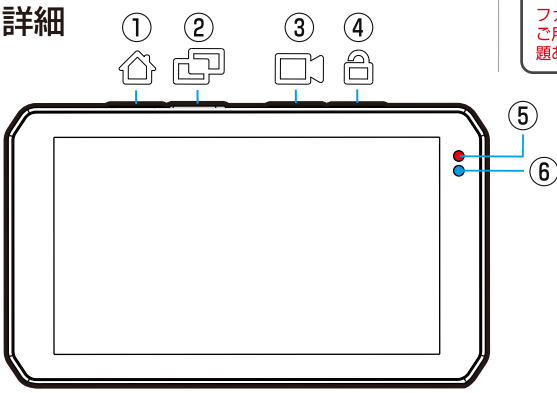
製品構成



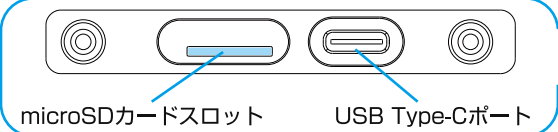
付属品



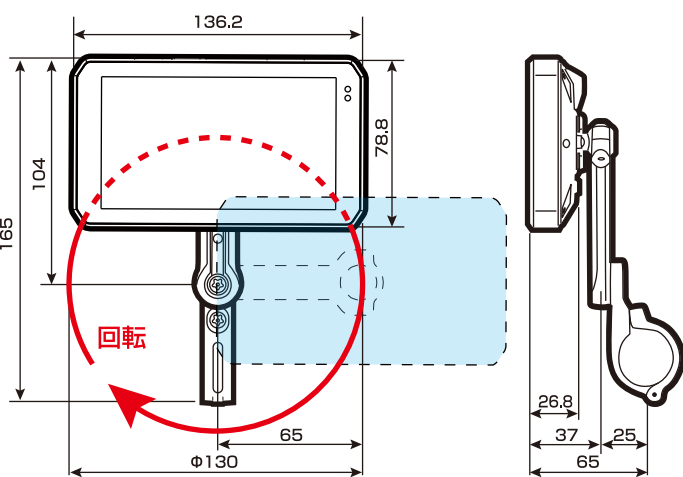
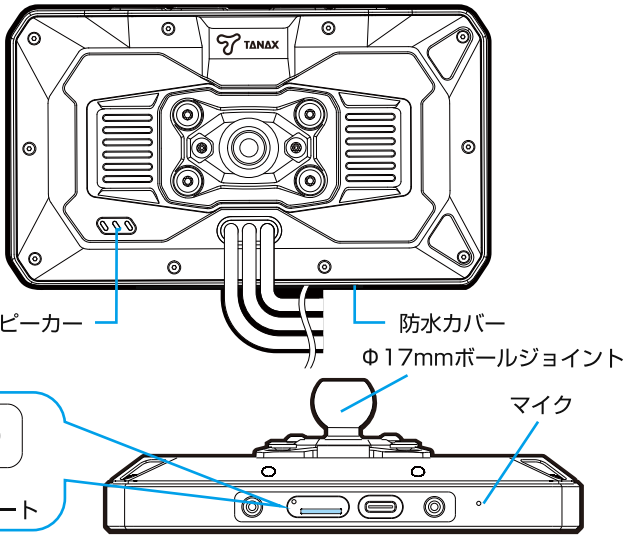
製品詳細



- ① ホームボタン
- ② リンクボタン
- ③ ドラレコボタン
- ④ ロックボタン
- ⑤ 録画インジケータ
- ⑥ 光感知センサー

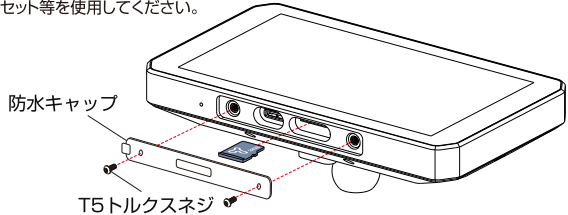


※USB-Type-Cポートはデータ通信用です。給電用ではありませんのでモバイルバッテリーなどは接続しないでください。



● microSDカード挿入方法

本体下部の防水キャップを外し、内部のmicroSDカードスロットにカードを下図の向きで挿入してください。カードは一旦奥まで押し込むとロックされ、もう一度押し出すと取出し位置まで出てきます。取り出しづらい場合はピンセット等を使用してください。



△ 注意

防水キャップはT5トルクスネジで取り付けられています。必ず付属品のT5トルクスドライバーでネジを外してからキャップを外してください。また、本来の防水性能が発揮されない可能性がありますので、microSDカードの挿入・取出し後は防水キャップを本体にしっかり押し込んでください。

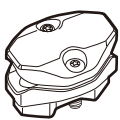


取り付け用アクセサリ（オプション・別売）



SRS-003 ステムホールマウント

セパレートハンドル車などのステムホールにモニターを取り付けられるマウント。(Φ12mm～Φ29mm対応)



SRS-004 マウントブラケット

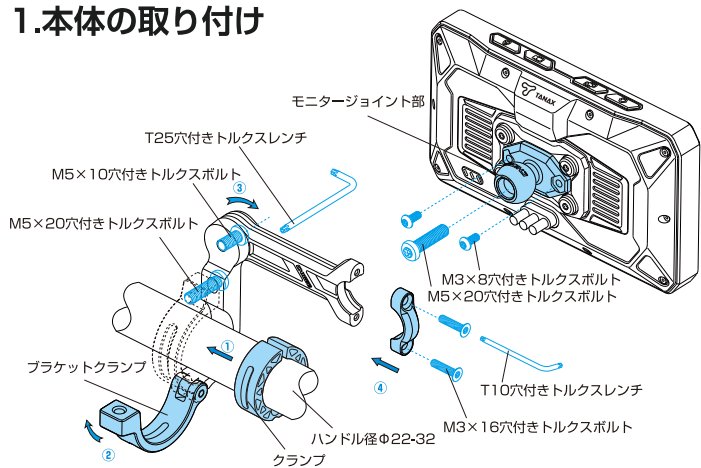
Φ12mm～Φ16mmの水平バーにモニターを取り付けられるマウント。



SRS-005 ハンドルミラーマウント

10mmネジのハンドルミラー取り付け部に共締めで使用するマウント。付属のワッシャーを使用する事で、8mmネジのミラーにも対応します。

1. 本体の取り付け



本体を付属品の取り付けステーを使用して車体に取り付ける場合は、ハンドルバーに下記の要領で取り付けください。

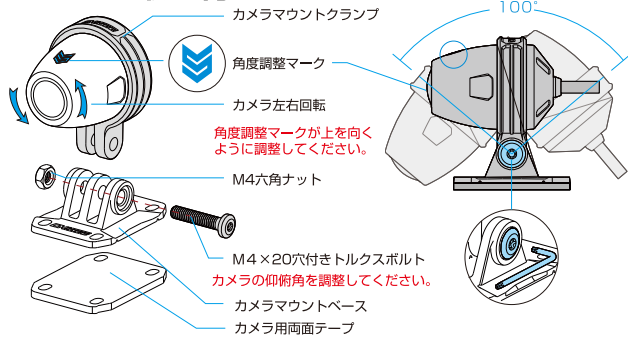
- ① 取り付けのハンドル径に対し適切なサイズのクランプスペーサーを取り付けます。



※ハンドル径が32mmの場合はクランプは使用せず、ハンドルを傷つけないように付属の傷つき防止テープを必ず使用してください。

- ② 各種クランプとブラケットクランプを挟み、付属のT25穴付きトルクスレンチでM5×20穴付きトルクスボルトを締め込みます。
- ③ 付属のT25穴付きトルクスレンチを使用し、ステーの角度を調整し、M5×20穴付きトルクスボルトを締め込みます。
- ④ 付属のT10穴付きトルクスレンチを使用し、ステーとモニタージョイント部をM3×16穴付きトルクスボルトで締め込み、角度を調整しながら固定します。

2. カメラの取り付け



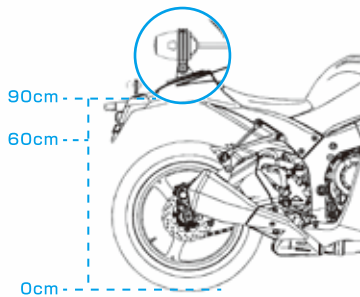
カメラは最適な取り付け位置を確認し、下記の要領で取り付けください。

- ① カメラマウントベース裏面とカメラ取り付け場所を十分に脱脂した後、カメラ用両面テープでカメラマウントベースを貼り付けます。
- ② M4×20穴付きトルクスボルトを緩め、カメラの仰俯角と水平を調整してください。カメラの水平の調整はカメラの角度調整マークが上を向くようにカメラを回転させて行います。角度の調整ができたならボルトを締め込んで調整完了です。

注意

<重要>カメラ用両面テープを貼る場所は十分に脱脂を行い、貼り付け時は10秒以上強く押し付けてください。貼付け後24時間は触らないでください。

■ カメラ取り付け位置について



カメラの取り付け位置は下記の要領で決めてください。

- ・左右方向：フロントカメラ、バックカメラが共に**車両の中心軸上**にあること
- ・高さ方向：バックカメラはカメラマウントベースが、乗車していない状態で**地面から60~90cmの高さ**に収まっていること

■ バックカメラ角度の調整について

死角監視(BSD)機能を有効にするため、バックカメラの仰俯角(上下角)を下記の要領で調整してください。



- ① 車両のシートにまたがり、サスペンションが沈んだ状態にします。
- ② ホーム画面「設定」→「オプション」→「死角監視」→「BSD」→「校正線」でドラレコ画面に切り替え、画面上に校正線が表示されていることを確認します。
- ③ 車両の後方(バックカメラ先端)から8mの位置に目印になる物を置きます。
- ④ 目印が校正線の赤いライン上に映るようにカメラの仰俯角を調整します。

■ 録画の保存について

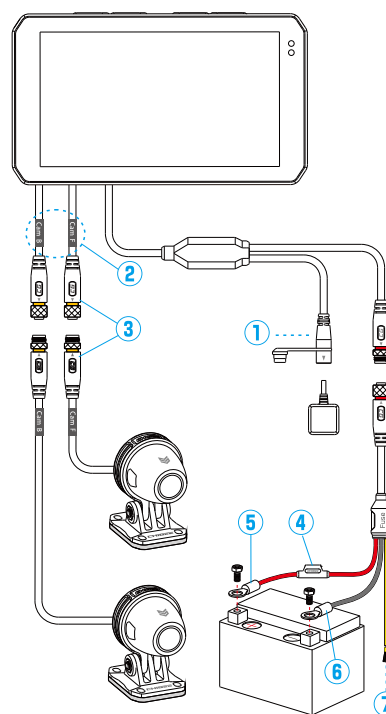
本機は32GB(※実際に録画を保存できるストレージ容量は29GB)の内蔵eMMCストレージに録画を保存します。衝撃を検知しロックされたファイルはループ撮影の上書きがされないため、ロックされたファイルが増加するにいたが、ループ撮影が保存できる容量は圧迫されていきます。録画容量が足りず、録画ができない場合は、ロックされた録画ファイルを削除するか、eMMCストレージをフォーマットしてください。

① ワンポイントアドバイス

定期的に録画ストレージをフォーマットして、容量に空きがある状態を維持してください。フォーマットを行うと録画ファイルが全て消去されますのでご注意ください。



3. 配線



- ① GPS受信機に接続します。
- ② カメラは下記表示によって前後を判別してから接続します。
Cam F フロントカメラ
Cam B バックカメラ
- ③ 接続する際は、同じ色のコネクタを合わせ、矢印標識▲にに合わせて差し込み、ナットを締めてください。
- ④ ヒューズボックス (3A)
- ⑤ 赤い線をバッテリーの+に接続します。
- ⑥ 黒い線をバッテリーの-に接続します。
- ⑦ 黄色い線をACCIに接続します。

注意

●取付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子(マイナスターミナル)を外してください。結線中にショートすることがあり、感電や車両火災の原因になります。●ACCIは必ず車両の電源がONの時は常時電流が流れている箇所に接続してください。

■ microSDカードで録画容量を増やすには

付属品のmicroSDカードはファームウェアアップデート用です。録画には対応しておりませんので、録画容量増設用のカードは別途ご用意ください。

録画容量自体を増やしたい場合は別途用意したmicroSDカードを使用することができます。本機下部のmicroSDカードスロットにカードを挿入すると以後の録画はmicroSDカードに保存されます。装着したmicroSDカードが本機で初めて使用される場合は必ずフォーマット作業が必要です。フォーマット作業は下記の手順で行ってください。

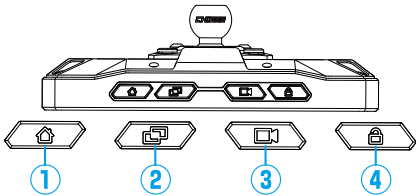


注意

- ③ 録画用のmicroSDカードは、転送速度がU3(UHSスピード規格クラス3)で、容量が32GB~256GBのものを使用してください。

04 操作について 本機上面の物理ボタンまたはホーム画面上の項目欄をタップすることで操作画面を切り替えられます。

ホットキー(物理ボタン)



- ① ホームボタン
ホーム画面に切り替わります。
- ② リンクボタン
1回押すと無線リンク画面に切り替わります。
(リンクしたApple CarPlay / AndroidAutoの画面)
→ 05 無線リンク
もう1回押すとプロメーター画面に切り替わります。
→ 07 プロメーター
- ③ ドラレコボタン
ドライブレコーダー画面に切り替わります。
→ 06/ドライブレコーダー
- ④ ロックボタン
短く押す : 画面をオフ
2秒長押し : タッチパネル操作をロック※
6秒以上長押し : 本体を再起動する
※タッチパネル操作ロックは画面表示に従ってスワイプすると解除されます。

操作画面



- ① リンク
無線リンク画面に切り替わります。
→ 05 無線リンク
- ② ドラレコ
ドライブレコーダー画面に切り替わります。
→ 06/ドライブレコーダー
- ③ メーター
プロメーター画面に切り替わります。
→ 07 プロメーター
- ④ 設定
システム設定画面に切り替わります。
→ 08 システム設定
- ⑤ 速度計
時速の表示
- ⑥ トリップメーター
走行距離と走行時間の表示
- ⑦ コンパス
進行方向の表示
- ⑧ タイヤ空気圧 (別売り・オプション)
※表示するにはSRS-002 空気圧センサー(前後入り)が別途必要です。

ワンポイントアドバイス
トリップメーターをリセットする場合は **TRIP** を長押ししてください。

05 無線リンク 本機上面のリンクボタンを押すか、ホーム画面の「リンク」をタップすると無線リンク画面に切り替わります。



本画面ではスマートフォンとの無線接続を行い、接続後はリンクしたスマートフォン内のアプリを表示させることができます。(画面表示の内容や使用できるアプリは、Apple CarPlayやAndroid Autoの仕様に依存するため、スマートフォンのアプリが全て表示される訳ではありません。)
また、接続設定画面から無線リンクに使用するWi-Fiの帯域の選択やペアリング設定の削除等ができます。

- ① 接続デバイス選択ウィンドウ
ウィンドウをタップするとApple CarPlay、Android Auto、Bluetoothの選択肢が表示されます。接続したいスマートフォンのOSがiOSであればAppleCarPlayを、AndroidであればAndroid Autoを選択します。
- ② 接続設定アイコン
スマートフォンとの接続前に無線リンクに使用するWi-Fiの帯域の選択(5GHz帯もしくは2.4GHz帯)や画面リフレッシュレートの切り替え、ペアリング設定の削除等ができます。
- ③ ヘルプマーク
タップするとそれぞれのモードに合わせた接続方法の補足説明が表示されます。

スマートフォンを無線接続する手順

手順1.接続するデバイスの種類を選択します。

接続デバイス選択ウィンドウをタップすると、下記の選択肢が表示されます。
接続したいスマートフォンの種類に合わせて接続デバイスを選択してください。

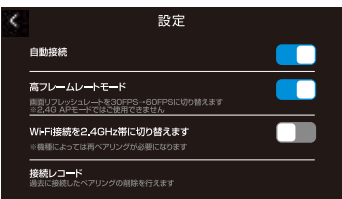
iOSスマートフォンをBluetooth(CHIGEE-XXXX)に接続してApple CarPlayを有効にします。
デバイス使用条件 : iPhone 6s / iOS 13以上

AndroidスマートフォンをBluetooth(CHIGEE-XXXX)に接続してAndroid Autoを有効にします。
デバイス使用条件 : Android 11以上

スマートフォンをBluetooth(CHIGEE-XXXX)に接続して音楽の使用や電話の応答などの機能を使用できます。
※ xxxxは個別の4桁番号です

手順2.接続設定を行います。

手順3に進む前に接続設定アイコンをタップすると、接続設定画面に切り替わります。
※本手順は飛ばしても問題ありません。その場合は画面リフレッシュレート30FPS/5GHzの接続設定になります。



- 自動接続
本機を次回使用する際に、一度接続したことのあるスマートフォンを自動接続する機能のオン/オフ切り替え。
- 高フレームレートモード
画面リフレッシュレートを30FPS→60FPSに切り替えFPSが上がるほどカクつきがなく滑らかな画面描画になります。※2.4GHz帯使用時は使用できません。

2.4GHzモード

データ通信に使用するWi-Fi接続帯域を、通常の5GHzから2.4GHz帯に切り替えることができます。

2.4GHzモードの特徴と注意点

- ・DFSがオフになり、接続待機時間がなくなります。
- ・遮蔽物に強いので、5GHzモードでスマートフォンをシートバッグ等にしまおうと接続が繋がりにくくなったり切れてしまう事象が改善されます。
- ・Android Autoは2.4GHz帯での接続が正式サポートされていません。
- ・5GHz帯で使用可能な高フレームレートモードが使用できません。

接続レコード

過去に接続したペアリング設定を選択し削除できます。

ワンポイントアドバイス

再ペアリングを行う場合は、本機の接続レコード欄のペアリング設定を削除し、スマートフォン側のBluetooth接続設定も削除してから再度ペアリングを行ってください。

手順3.スマートフォンとペアリングを行います。

手順1で接続デバイスを選択すると、本機画面に青字で「携帯電話でBluetoothデバイス「CHIGEE-XXXX」(xxxxは個別の4桁番号)とペアリングしてください。」と表示されます。
スマートフォンのBluetoothの接続先にCHIGEE-XXXXを選びペアリングを行ってください。



ワンポイントアドバイス

Apple CarPlayまたはAndroid Autoを選択すると画面右上にヘルプマーク が表示されます。ヘルプマークをタップするとそれぞれのモードに合わせた接続方法の補足説明が表示されます。

手順4.画面が切り替われば接続完了。

ペアリングが完了し、本機の画面表示がスマートフォンの画面とリンクした表示に切り替われば接続完了です。



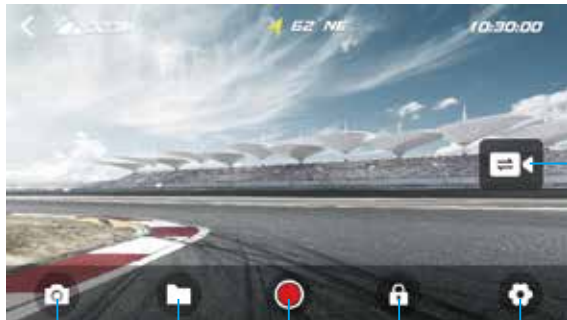
ワンポイントアドバイス

スマートフォンとの接続を切りたい場合はスマートフォン側でBluetoothとWi-Fiをオフにしてください。

06/ドライブレコーダー

本機上面のドラレコボタンを押すか、ホーム画面の「ドラレコ」をタップするとドライブレコーダー画面に切り替わります。

ドライブレコーダー画面



①～⑥のメニューは、ドライブレコーダー画面を1回タップすると現れます。

録画中は画面パネル右上の録画インジケータが点滅します。

- ① 静止画撮影
- ② フォルダの表示
- ③ 録画開始/停止
- ④ ファイルをロック
- ⑤ ドラレコ設定
- ⑥ 表示カメラ切替

ドラレコ設定画面



■ 解像度

1080P/27.5fpsもしくは720P/27.5fpsの解像度を選択できます。

■ 合成出力

前後カメラの画面を1画面に統合し1つのビデオファイルにまとめます。前後カメラのどちらをメインカメラにするか選択できます。

■ 録画時間

ループ録画の撮影サイクルは1/2/3分の設定が可能です。

■ データ

ビデオ画面に表示するデータを選択します。時間、速度、経緯度を選択できます。詳細な設定はCHIGEE GOアプリで利用可能です。

■ 鏡像

鏡像プレビューの切り替えが設定できます。バックカメラ(カメラB)を鏡像プレビュー設定するとバックミラーと同じ見え方になります。

■ 衝突ロック

オンにすると、衝突を感知した時に録画ファイルをロックし保護します。オン/オフ、低/中/高の3段階の感度設定が可能です。

■ 駐車監視

電源が入っていない状態で車両への衝撃を感知すると、約60秒録画を行います。オン/オフ、低/中/高の3段階の感度設定が可能です。

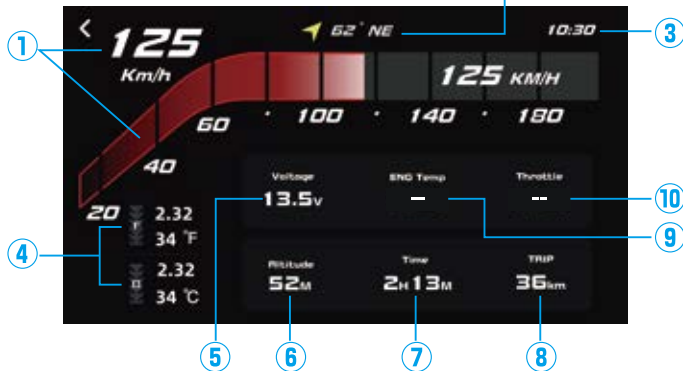
■ 録音設定

集音する音量を調整できます。オン/オフ、標準/高感度のマイク感度設定が可能です。

07/プロメーター

ホーム画面の「メーター」をタップするとプロメーター画面に切り替わります。

プロメーター画面



- ① GPS速度計 ※1
- ② コンパス
- ③ 時計
- ④ タイヤ空気圧・温度 ※2
- ⑤ 電圧
- ⑥ 標高
- ⑦ 稼働時間
- ⑧ 走行距離
- ⑨ 非対応 ※3
- ⑩ 非対応 ※3

⚠ 注意

※1 GPSによる位置情報からの速度計測のため、実際の走行速度と若干の誤差があります。
※2 別売りオプション品(SRS-002 空気圧センサー 前後入り)を装着後に表示されます。
※3 本機には非対応のデバイスからの表示項目であるため表示されません。

08/システム設定

ホーム画面の「設定」をタップするとシステム設定に入ります。

ホーム画面



システム設定画面



■ 表示と音量

画面の明るさ、自動調光のオン/オフ切り替えと操作音や起動音の音量を調整できます。

■ ストレージ

eMMCストレージとmicroSDカードの残容量の確認やフォーマット作業ができます。(重要なファイルはフォーマット前にバックアップしてください。)

■ オプション

オプションの空気圧センサー、リモコンのペアリングとインカムの音声出力、GPS、死角監視、ファームウェアの更新などの設定が可能です。

■ 言語

言語を設定できます。

■ 日時

日付と時間を設定できます。日時の形式やタイムゾーンの設定も可能です。

■ リセット

工場出荷時の設定に戻ります。

■ About

型番、名称、ファームウェアのバージョン、SNコード、法律と規制情報といったデバイス情報を確認できます。

■ CHIGEE GO

専用アプリCHIGEE GOとの接続のオン/オフ切り替えができます。接続することで、録画データをスマートフォンに転送が可能です。

09/デバイス設定

システム設定画面の「オプション」をタップすると各デバイス設定ができる画面に入ります。

システム設定画面



オプション画面



■ 空気圧

SRS-002 タイヤ空気圧センサー(オプション・別売)との接続した表示単位の切り替えを行う事ができます。また、低圧警報値と高圧警報値の変更もできます。

■ 音声出力

音声出力方法の確認ができます。
※音声出力はスマートフォンに接続する仕様です。

■ GPS

電波強度、衛星数、速度、経緯度を確認できます。

■ リモコン

SRS-006 プロワイヤレスリモコン(オプション・別売)とのペアリングやバッテリー残量の確認などを行う事ができます。

■ 死角監視(BSD)

死角監視(BSD)機能のオン/オフ切り替えができます。オンにすることで、運転中に左右後方の死角の車両を検知した時に画面上で運転者に警告します。また音声アラームや校正線の有無、感度識別や作動時速の設定ができます。

⚠ 注意

BSD(死角監視機能)は運転アシスト機能です。システムは状況により誤検知や検知漏れを起こす可能性もありますので運転者は常に警戒心を持ち、周囲の状況を把握してシステムに過度に依存せず法律(ウインカーの使用、目視とミラーの確認、左右確認、後方確認等)を守り運転してください。

■ 更新

ファームウェアアップデートの有無の確認や、更新ファームウェアデータのダウンロードとアップデートを行う事ができます。

① CHIGEE GO アプリをダウンロードする。



アプリをダウンロード
iOS / Android

※ APP StoreまたはAndroidアプリストアからのダウンロードも可能です。

② アプリの指示でAIO-5 liteに接続してください。



①



②



③

CHIGEE GOアプリの機能

アルバム

写真と動画をローカルフォルダにダウンロードしたり、ダウンロードした動画を編集(位置情報、速度、タイヤ空気圧表示等のパラメータをオーバーレイする)することができます。



- ① ローカルアルバム
:スマートフォンに転送した写真と動画
- ② ドラレコアルバム
:本機に保存されている写真と動画
- ③ “☒”複数選択
- ④ “全部” 全部:すべての写真と動画
- ⑤ “ビデオ” 動画:録画ファイルを確認する
- ⑥ “写真” 写真:撮影した写真を確認する

ドラレコアルバム上で選択し、ダウンロードされたビデオファイルは、ローカルアルバムに保存されます。ローカルアルバム上のビデオファイルはリアルタイムの走行履歴の確認と録画データの編集をすることができます。

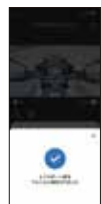


リアルタイム行動履歴



録画データ編集

エクスポート
編集した録画データをローカルアルバムに書き出します。



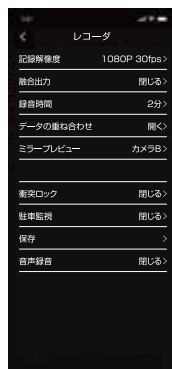
動画上に載せたい情報を選択します。

カメラ

スマートフォンから本機のカメラを操作し、静止画の撮影を行うことができます。また、スマートフォン上で本機のドラレコ設定を変更することができます。



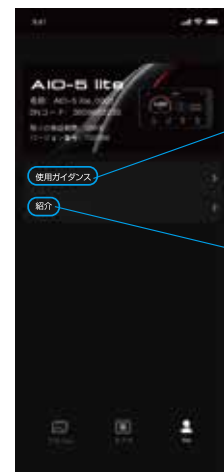
- ① リンク解除
- ② カメラ切替
- ③ 解像度選択
- ④ アルバム
- ⑤ 撮影
- ⑥ ドラレコ設定



ドラレコ設定

機種情報

説明書等の使用ガイダンスを確認する事ができます。



使用ガイダンス
本機の取扱説明やカメラ、オプション機器の説明などを確認できます。

紹介
お使いのスマートフォン上のCHIGEE GO アプリのバージョンを確認できます。

11 メンテナンス 本製品を快適にご使用いただけるよう、下記メンテナンスを定期的に行ってください。

ファームウェアのアップデート

ファームウェアアップデートとは、コンピュータや電子機器の基本的な制御を行うためのソフトウェアを更新することです。

本製品は機能性の向上や不具合解消のため、予告なくファームウェアを更新する場合がございます。更新の有無の確認や、ファームウェアアップデートのやり方については別紙「SRS-001 スマートライドモニターAIO-5 Lite ファームウェアアップデートの手順」をご確認ください。

製品本体のお手入れ

- ドライブレコーダーのカメラに付着したゴミ等がレンズを傷つける可能性がありますので、定期的に乾いた柔らかい布でレンズを清掃してください。
- スマートライドモニターを使用中に砂や泥等が詰まる可能性がありますので、定期的に水で洗浄し拭き取ってください。液晶画面は糸くずの出ない柔らかい布(液晶画面専用のクリーニングクロスやメガネ拭き)で、やさしく拭いてください。

注意

- ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用は本体の腐食、防水性能の劣化を引き起こす可能性がありますので、お避けください。
- アルコールやエタノール、研磨剤、界面活性剤といったものが含まれるウェットティッシュは、耐指紋コートといったスマホ表面のコーティングを剥がしてガラス表面を劣化させたり、ゴムやプラスチックといったパーツを傷めたり、外装の印刷を消してしまう危険がありますので、お避けください。
- 高圧洗浄機のご使用はお避けください。

品番 / 品名		SRS-001 スマートライドモニターAIO-5 Lite		Bluetooth規格	5.0				
本体寸法 / 重量		136.2×78.8×26.8mm / 320g		Wi-Fi規格	IEEE 802.11n/ac (Apple CarPlay, Android Autoとの 5GHz帯の通信はW56(DFS機能搭載)を使用)				
ケーブル長		Cam F (フロントカメラ) Cam B (バックカメラ) GPS受信機 電源 各58cm + Cam F (フロントカメラ) Cam B (バックカメラ) GPS受信機 電源(+/-/ACC) 100cm 255cm 100cm 各203cm ※ケーブル付根から接続端子先端までの計測値		前後カメラ	視野角		D136.6°(H115.6°, V61.6°)		
		F値			1.8				
		解像度 / フレームレート			FHD(1920×1080p) / 27.5fps				
		明暗補正			HDR/WDR				
ディスプレイ		サイズ	5.0インチ		イメージセンサー		SONY STARVIS™ IMX307 2.0MP		
		液晶仕様	IPSタッチパネル / 輝度: 1000Nit						
		解像度	HD(1280x720p)						
防水仕様		本体: IP67 / 前後カメラ: IP67							
動作電圧/電流		DC12-18V / 0.6A							
電源周波数		50Hz/60Hz							
対応車両電源		12V~18V							
搭載センサー		GPSセンサー / ジャイロセンサー / Gセンサー							
HUD		速度 / 時間 / 方向							
内蔵ストレージ		32GB(eMMC)							
外部ストレージ		microSDカードスロット (最大256GB / UHSスピードクラス3以上)							
				記録方式	ループ録画			1分/2分/3分 サイクル	
					緊急自動録画			駐車監視時消費電力 待機中: 約100μA(0.0012W) 録画中: 約0.6A(7.2W) ※DC12Vで使用した場合	
				記録フォーマット	動画: MP4 / 写真: JPEG				
				録画再生方法	①本体 ②PC 各種MP4対応プレーヤー(Windows / Mac) ③スマートフォンアプリ (CHIGEE GO / 各種MP4対応プレーヤー)				
				システム要件	Apple CarPlay: iPhone 6s以上 / iOS 13以上 Android Auto: Android 11以上				

※日本の電圧法に基づいた仕様となりますので、海外への持ち込みはできません。※ファームウェアの更新により各数値が変更される場合がございますので、予めご了承ください。

保証について

一部例外を除き、ご購入日から12カ月以内に製品の不具合が認められた場合、無償にて修理いたします。(修理が困難な場合には同品との交換を検討いたします) 往復送料は弊社にて負担いたします。(着払いにて弊社宛にお送りください)
保証適用のためにご購入の履歴がわかる書類(注文確定メールや納品書、又はレシート等のコピー)を確認させていただきます。
ご購入の履歴がわかる書類のご提示がない場合や、正規販売店以外でご購入された場合は保証対象外となります。
またお住まいの地域によっては制約事項および例外事項が適用されることがありますので、ご了承ください。
保証期間中でも、保証対象外の場合は有償修理になります。

[保証対象外となる場合]

- 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷
- 落下、転倒事故、輸送等による故障および損傷
- 火災、地震等の天変地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷
- オートバイ以外に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷
- 購入証明のご用意が出来ない場合、またお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の確認ができない場合や改ざん等の不正が認められる場合
- その他、製品の誤用や不当な扱いによる損傷、表面的な損傷、機会損失等の費用などの付随的または必然的な損害

△ 取り付けの注意

●法令を守りお取り付けください。●作業の際は純正サービスマニュアルを併せてご参照ください。●本製品の取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技術や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験のない方、工具等の準備が不十分な方は必ず技術的信用のある専門店またはお買い上げの販売店等にご相談ください。●本製品は汎用品です。取り付け出来ない車両や電装機器があります。予め弊社では取り付けられる電装機器の保証、説明は致しかねますので、ご了承ください。●重大な事故につながる可能性がありますので、走行前に配線の取り回し、各部品の固定に異常がないことを確認してください。また定期的に同様の点検を行ってください。●取り付け作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(車両が転倒し怪我する恐れがあります。)●配線は、極性を確認後にプラス→マイナスの順で接続し、マイナス→プラスの順に取り外してください。●取り付け後は定期的にガタツキや緩みがないか点検を行ってください。●走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ点検を行ってください。●取り付け作業前には必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。ショートによる感電や車両火災の原因になります。●感電や車両火災の原因になりますので、取り付け中は第三者が触れない場所で作業してください。●本体や配線コードなどが車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィズプロテクターシート:別売り)等でその部分を保護する事をお勧めします。●配線コードやカメラなどがエンジン・マフラー・排気煙等、車体の熱くなる部分には触れる事の無い様に装着してください。

△ 使用上の注意

●法定速度以上での使用はお控えください。本体取付ステーやカメラが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●本製品をメーターやバックミラーの代わりとして使用しないでください。重大な事故及び破損の原因になります。●走行中は操作しないでください。必ず停車させて周囲の安全を確認してから操作してください。●本体やカメラを分解しないでください。●林道や砂利道などの荒れた路面では振動でステーやカメラが緩む恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。●仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。●取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

タナックス株式会社

千葉県流山市おおたかの森西 3-5-7 〒270-0128
TEL: 04-7150-2450
TANAX CORPORATION
3-5-7, OTAKANOMORINISHI, NAGAREYAMA-SHI, CHIBA
270-0128 JAPAN TEL: +81-4-7150-2450



TANAX WEB サイトへ
簡単アクセス!
<https://www.tanax.co.jp>